



IoT活用による高品質な化粧品容器の 受注拡大に向けた生産体制の構築

■ 事業のきっかけ・背景

プラスチック容器業界は近年、大手化粧品メーカーが越境 EC に注力している影響もあり、需要が高まっている。

実際に引き合いも増えているが、①パートナー企業も含め生産管理面での十分な体制が整っていない点、②化粧品容器の品質に対応できる下請企業が少ない点の2点の問題により受注する事ができていなかった。この状況を受注拡大のチャンスと捉え、本事業の実施に至った。



■ 事業の概要・成果

当事業は当社とパートナー企業の2社の“連携体”として取り組んだ。

両社にIoTを活用した生産管理システムと最新設備を導入し、パートナー企業の設備を含めた稼働状況、生産実績をデータ化し、一元管理することで品質基準の共有・徹底を進めた。

結果、生産現場の「見える化」が実現。生産管理の効率化と省力化が図れ、生産管理システムのデータを活用したオンタイム制の納期回答体制を構築でき、5%の稼働率向上が可能となり、パートナー企業も加えると生産能力が10%向上した。



今後の方針、次の目標など

現在、大手印刷会社の協力のもと、従業員の研修を行い、第三工場を新設し、一貫生産が可能な体制作りを進めています。

一貫生産が実現すれば、容器の成型・フィルムの装着だけでなく、印刷まで対応することが可能となります。さらに、今回の事業で導入したIoTを活用した生産管理システムを活用することにより、低コスト化・納期短縮・徹底した品質管理が可能となるため、より一層の受注拡大に繋がると考えています。



代表取締役 福本 哲也

企業概要



代 表 者 名	代表取締役 福本 哲也
設 立 年	1985年5月
所 在 地	〒633-2424 奈良県吉野郡東吉野村中黒1130番地
T E L	0746-42-0298
F A X	0746-42-1119
ホームページ	http://www.s-fukumoto.co.jp/
資 本 金	3,000万円
従 業 員 数	72名
事 業 内 容	各種プラスチック製品の開発・製造・販売

当社は1965年創業以来50数年に亘り、プラスチック成形加工、販売を柱にし、ニーズに即応しつつ希少性を大事にすることをモットーにして、今日に至っている。

プラスチック製品の企画・設計・製造において、お客様のニーズに応じ、容器の外観光沢美観、芳香性、酸化防止に優れた製品を製造するとともに、防塵、防虫対策を施したクリーンな製造環境のもと、24時間体制で対応している。

21世紀を迎え、技術革新、信頼できる製品造りを信条とし、お客様、パートナー企業との信頼と、従業員の幸せを第一に考えた企業を目指している。